

5月21日(日)

博多ふくいちの

辛子めんたい



1パック

680円 (税込)

西田鮮魚店

072-5246

御用聞き便専用番号 ☎090-7125-5489 (旧庄原市内はご自宅に配達)

御用聞き便ポイントカード 火・水曜日ポイント2倍

今回紹介するのは博多ふくいちの明太子！ダイナミックで爽快な田植えを終えた後、明太子で心から満足感を感じてみませんか？実は今回明太子の広告をする朝礼で聞いて、明太子料理が好きな僕は、どんな味なんだろう、と気になっていました。そんな時、帰り際いきなり奥原主任に「明太子気になるなら食べてみるか？」と言われ、「食べます！」と即答したところ、「じゃあ広告の文章頼むな。」と……とても美味しかったので張り切って紹介させていたくなりますね！

ふくいちの明太子はその独特で刺激的な辛みが特徴で、粒もはつきりしていて食卓に特別感をもたらす事ができます！その旨さは全身を駆け巡り、田植えで疲れた体に一気に活力を注ぎ込んでくれる！まずは定番のごはん明太子をトッピングし、絶品コンビを楽しんでみましょう！これ以上の至福は存在しません……！

さらに、遊び心あふれる派手な一品を作りたいと言う方には、明太子パスタもおすすめ。手軽に完成させられるうえに、ファイヤードライスパイスとクリーミーなソースが絶妙にマッチ！この美味しさをクールに堪能してしまえば、夢中になること間違いなし！

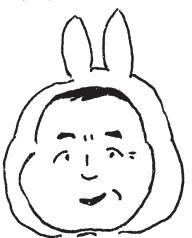
もちろん、明太子を使ったおにぎりや、マヨネーズと混ぜ、トーストに乗せてオーブンで焼くのもおすすめ。どちらも上品で洗練された味わいで、繊細な幸福感も堪能できる。シンプルながら斬新な食感に、心からリラックスできることでしょう！

どんな料理も簡単に作れて最高に美味しい！明太子は皆さんの明日の活力になること間違いなしです！ぜひ食卓で特別＆最高の時間を堪能しましょう！

西田鮮魚店 長崎 大雅

『将来Ⅳ どうする高正 どうするジョイフル』

鮮コーポレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史



林高正市会議員が『庄原市市議会議長』に推挙されたと新聞報道で知った。

記事を見た私は「おおお!!」。しかし、彼は以前、私に次の選挙には出ないと言い、私は、この手紙でそう書いた。

議員としての任期はあと2年のはず。市議会議長という重責を、2年という短期間で辞めてしまうのだろうか。それとも、また立候補するのだろうか。しかし、あの頑固者が前言を翻すとは考えにくい。

5月15日。友人6名が集まって、議長就任の祝賀激励会ともいべき『呑み会』を催した。宮崎、熊本、細川、倉田、山崎各氏に私、そして本人。場所はアイリータイム。

聞かれてはならないこと、重大な発表があるやもしれぬ、ということでも7人ながら貸し切りにしてもらったと幹事役の熊本君が私に言った。結論からいえば、残念なことにそんなものは、かけらもなかったが、熊本・細川ふたりの賑やかなこと。貸し切りにもなってよかった。

ただ、私がいちばん知りたかったこと。もう選挙には出ない、という宣言については、彼は最後まで「出ない」と言い切った。6人が6人、出るべきだと言ったが最後まで。

4月28日の夜、メールが届いた。高正から。『こんばんは。今日の臨時議会で議長になることができました。道の駅ジョイフル頑張ります』

彼のマニフェストというか、取り組んでいる政策、課題は多岐にわたる。よく勉強してる。感心する。

庄原市の市街地の活性化もそのひとつ。そして、その大きな柱が、時代の役目を終えたジョイフルを、令和の時代にどう生き返らせるかということだ。

ある日のジョイフルの会議。歯切れの悪い説明に終始する私。我ながら情けなかった。

その会議のあと、出席者の一人から、「西田さんは、どうしてジョイフルの理事長をされようと思ったんですか?」と聞かれた。

今あるジョイフルを整理して、新しい商業施設を作ることの道の険しさ遠さを、わかっているからこそその質問だったろう。私は、すぐに、答えることができなかった。ときおり、私自身、自分にそう問いかけることがあったから。それから何日間か考えてわかった。

私はこれからのジョイフルをどう生まれ変わらせるか、それに関わりたくてしゃしゃりでたのだ。

2年あまり理事長を務めて、わかったことがたくさんある。それぞれの人がそれぞれの事情があること。利害があること。その複雑さ。

『これからのジョイフルをどうする?』。これはおもしろい。楽しい。

しかし、その前に片づけなければいけないことがある。

『今ここにあるジョイフルをどうする?』
これが、半端なく難しい。難しいとは思っていたが、こんなにたいへんとは。堂々巡りで何も進まない。無力感に苛まれる。

最近、頭を切り替えた。

『今ここにあるジョイフル』の整理をしながらも、同時進

行で『これからのジョイフル』のことも考え、進めよう。そうすれば、何かが動き出すに違いない。
高正が言い出したのか、私が言ったのか定かでないが、『ジョイフルを『道の駅』に!』と、二人の間で盛り上がったことがある。

新しいジョイフルは、最近よく見かける、大駐車場のまわりにお店を張り付けるオープンモールというのだろうか、そんなものにしたくない。都会なら、いろんな施設があるからそれでいいだろうが、庄原は、お店は買い物場であるだけでなく、人が集う場であってほしい。ジョイフルがそんな役目を果たしてきたように。

そんなことを考えるうちに『道の駅みたいな』という言い方をしている自分に気がついた。

そうか『道の駅』か。

ここで、300メートル先、まさに眼と鼻の先の『国営備北丘陵公園』という宝物が頭に浮かんだ。

備北丘陵公園と一体化したジョイフルにすればいい。もちろん、イメージだ。

前も書いたような気がするが、ジョイフルのまわりは、俗に言う『市街地』だ。ダウンタウンと言ってもいい。

なにしろ、ジョイフルから市役所まで700メートル、日赤350メートル、市民会館350メートル、みどり信金500メートル、広島銀行800メートル、総合体育館700メートル、小学校200メートル、実業500メートル、格致700メートル、庄原グランドホテル150メートル。近い。広島なら、八丁堀、紙屋町の範囲だ。近い。

その上に『国営備北丘陵公園』が300メートル先。

もういちど、名前を見直してほしい。『国営』だ。1995年に開園していろいろ、どれだけ、『国営』の力を見せつけられたことか。その集客力たるや凄まじかった。庄原で渋滞が発生するのは、丘陵公園のイベントの時だけといっても過言ではない。

具体的なプランは、これからだし、できるかどうかも分からないが、『ジョイフル道の駅計画』もしくは『ジョイフル道の駅ふう計画』が、令和の庄原を生き返らせる。そう、高正と一致した。

それが、彼が議長就任にあたってくれたメールになったというわけである。

頼むよ高正。知恵をかせてくれ。一緒に汗を流してくれ。

最後に、林議長、高正・高正と呼び捨てにして申し訳ありません。先輩ということで勘弁してください。



国営備北丘陵公園で行われたSETSTOCK'08では「Mr.Children」「ゆず」など人気ミュージシャンが出演。庄原中が大渋滞した。

2023年5月21日